

第 39 回 山形県放射線技師学術大会を終えて

実行委員長 水口 雄治

薫風の候、1年を通じ最も過ごし易いこの時期に第39回学術大会を庄内最上地区が担当することになり、遊佐町 鳥海温泉「遊楽里」で開催されました。

イラク戦争も終わり、ホッとする間もなく SARS 問題が起こりました。SARS で忙しい方々もあろうか思われますが、県内各地から総数 156 人の会員、賛助会員に参加いただき無事終了する事が出来ました。実行委員を代表して厚く御礼し感謝申し上げます。

大会を振り返って見ますと、特別講演には地元遊佐町の教育委員長・高橋石雄先生より「遊佐の自然と風土」と題し、自分のルーツを探りたいという思いから歴史に興味を持ってやってきたということ、子供たちに自然を実感させながら学習させていることなどお話をいただきました。

さて演題を募集したところ、近年になく 29 題と多く集まり、関係者の嬉しい悲鳴が聞こえてきました。発表も全部 PC を使って行われました。動画あり、アニメーション効果ありと最近の主流が感じられるものが多く、ついこの間までスライドを作っていたのが夢のようです。スライド受付で急遽変更された方もいて PC の凄さを改めて感じたところです。

懇親会は 119 名の参加がありました。初めてのパーティー形式ということで、少々不安でしたが、実行委員といろいろ相談してアトラクションにはアマチュアのジャズ演奏を企画いたしました。普段生演奏を聴くことが少ない方々には大変喜ばれました。その後、各部屋に分かれて行われた夜のミーティングはそれぞれ盛り上がったと聞いています。

二日目の定期総会は昨夜の疲れが残った方もいらっしゃったようですが、平成 14 年度会務報告及び会計報告、平成 15 年度事業計画及び会計予算の審議が行われ、満場一致で可決されました。議長の議事進行に敬意を表したいと思います。加賀会長には法人化に向けての事務所設立積立金、歯科医の漏洩線量測定、脱衣マニュアル、医療事故防止マニュアル等数々の取組みをされてきました。会長職として最後の仕事を終えられ、高橋新会長へバトンタッチされ、今後は名誉会員としてご尽力をいただくことになりました。山形県技師会の発展のために、高橋新会長を盛り上げていくことで定期総会は閉会しました。

定期総会后、昨日に引き続き研究発表が行われました。発表者、共同研究者の皆様にご挨拶申し上げます。座長の皆様にも活発な質疑応答で会場を盛り上げていただき、無事終了する事が出来ました。有難うございました。

今回の大会に実行委員として大会運営に当たられた庄内最上地区会員の皆様、また演題の取りまとめ等にご苦労いただいた事務局、物心両面に渡りご協力いただきました賛助会員の皆様に対してこの場をお借りして厚く御礼、感謝申し上げます



特別講演の高橋 石雄 先生



実行委員の皆さん